

休校さらに延長

3年生になって1か月が過ぎました。といっても1か月を過ごした感じは全くありませんね。名ばかりのゴールデンウィークはどのように過ごしましたか。本来なら“春季大会で部活を頑張った”という人も多いはずでしたが、それも叶わずでした。普段の学校生活に一日でも早く戻れることを本当に願います。

さて、5月1日に配布された休校中の課題の中で、“高校のホームページを見る”という課題を出しましたが、何校か見られたでしょうか。目に留まる学校や学科・コースなどはあったでしょうか。学校によっては、ネット上での相談会などを実施している学校もあります。利用してみるのもいいかもしれませんね。

年度当初の予定ではこの時期に第1回の進路説明会があり、皆さんにも参加してもらはずでしたが、休校延長のため説明ができません。少しではありますが簡単にポイントを載せておきます。参考にしてください。

ポイントⅠ：課程の違い

- ①全日制：中学校と同じように朝から学校に通う。
- ②定時制：夜間に通うことが多い。清明（公立）や、綾羽（私立）は昼間定時制。
- ③通信制：自宅学習でレポートを作成し、定期的にスクーリングも行う。

公立高校・私立高校のどちらにも①～③に当てはまる学校があります。

ポイントⅡ：公立高校の学科

- ①普通科：中学校と同じように一般的な教科を中心に全般的に学ぶ。

例、洛水高校普通科、乙訓高校普通科、桃山高校普通科など。

- ②専門学科：一般科目以外に専門的な科目も学ぶ。

例、京都すばる高校企画科、京都工学院高校プロジェクト工学科、桃山高校自然科学科など。

ポイントⅢ：公立高校の選抜の種類

- ①前期選抜：昨年は2月17・18日実施。

A方式：学力検査、面接・作文、報告書、（活動実績報告書）で選抜。

B方式：面接・作文、報告書、活動実績報告書で選抜。

C方式：学力検査、面接・作文、報告書、（活動実績報告書）、実技検査で選抜。

夜間定時制高校の前期選抜はありません。（一部特別に実施する学校もあります）

- ②中期選抜：昨年は3月6日実施。

学力検査と報告書で選抜。学力検査は、全日制も定時制も、どの学校を受検しても同じ問題。

定時制高校は、面接も実施。

- ③後期選抜：昨年は3月24日実施。

中期選抜までで、欠員があった学校のみ実施される。学力検査と面接と報告書で選抜。

ポイントⅣ：公立高校の通学圏

①大淀中学校は，“京都市乙訓通学圏”に当てはまる。

②よって公立高校普通科は，原則京都市乙訓通学圏の21校の中から選択する。

21校とは

山城・鴨沂・洛北・北稜・朱雀・洛東・鳥羽・嵯峨野・北嵯峨・桂・洛西・桃山・東稜
洛水・向陽・乙訓・西乙訓・紫野・堀川・日吉ヶ丘・塔南

それ以外に

東宇治・城南菱創・久御山及び西城陽のスポーツ総合専攻，亀岡の美術工芸専攻など
特別に志願できるところもある。

大淀中学校は，京都市乙訓通学圏に当てはまるので，住所が八幡市や久御山町であっても
京都八幡高校や久御山高校の普通科は志願できない。

③公立高校専門学科は，概ね府内の専門学科を設置している全校から志願できる。

（一部志願できないところもある）

ポイントⅤ：専願と併願

①公立高校は全て専願受検。合格すれば必ずその公立高校に入学手続きをする。

②私立高校は専願・併願を選ぶ

a) 私立高校が第一志望で，合格すれば必ずその私立高校に入学手続きをする。⇒ 専願受験

b) 私立高校が第一志望ではないため，私立高校に合格しても，公立高校に合格すれば公立高校に
入学手続きをする。⇒ 併願受験

ちなみに 公立高校は“受検”，
私立高校は“受験”と表します。

少しは参考になりましたか。わからないことがあれば遠慮なく，学校再開後質問してください。

今回の封筒に，“私学フェアKYOTO”のちらしが同封されていると思いますが，

6月14日（日）の私学フェアは今年度中止です。

表面は無視してください。

裏面の各校のオープンキャンパスや体験学習のお知らせのみ，参考にしてください。

ただし，コロナの影響で変更があるかもしれません。各校のHPなどでも確認してください。

なお，6月21日（日）に予定されていた公立高校合同説明会も中止です。